

平成19年度
芦屋市明るい選挙推進協議会
総会資料

日時 平成19年5月21日（月）午前10時～

総 会 次 第

1 開 会

2 新委員委嘱式 委嘱状の付与~~(資料1)~~

3 選挙管理委員会委員長あいさつ

4 会長あいさつ

5 議 事

(1) 平成18年度常時啓発事業の実施結果について (資料2)

(2) 平成18年度選挙時啓発事業の実施結果について (資料3)

(3) 平成18年度会計収入支出報告について (資料4)

(4) 新副会長の選出

(5) 各専門委員会の割り振り

(6) 平成19年度常時啓発事業の実施計画(案)について (資料5)

(7) 平成19年度選挙時啓発事業の実施計画(案)について (資料6)

(8) 平成19年度会計収入支出予算(案)について (資料7)

6 意見交換

7 閉 会

[資料2]

平成18年度常時啓発事業の実施結果

事業項目	事業内容
1 諸会議の開催	<p>明推協総会 ① 日時 5月15日午前10時～12時</p> <p>常任委員会 ① 日時 2月22日午前10時～12時</p> <p>広報委員会 ① 日時 4月25日午前10時～12時</p> <p>② 日時 9月4日午前10時～12時</p> <p>③ 日時 12月26日午前10時～12時</p> <p>講演会実施委員会 ① 日時 6月8日午前10時～12時</p> <p>② 日時 9月21日午前10時～12時</p> <p>③ 日時 10月27日午前10時～12時</p> <p>選挙時啓発委員会 ① 日時 3月22日午前10時～12時</p>
2 広報紙啓発事業	<p>広報委員会委員により広報紙に白ばらだよりを掲載し、選挙啓発を行う。年3回</p>
3 啓発ポスター募集事業	<p>市内の小・中・高校から明るい選挙の啓発ポスターを募集</p> <p>募集期間 5月22日～9月1日</p> <p>応募状況 小学校 7校 171点 中学校 5校 124点 高校 2校 21点 合計 14校 316点</p> <p>審査 9月6日に審査を行い(特選2名・入選18名・佳作30名)、特選及び入選作品20点を県の審査へ送付(県での入選2名)</p> <p>表彰式 11月30日 入選者(特選2名・入選18名)を表彰し、表彰状・記念品を贈呈。</p>
4 明るい選挙推進旬間事業	<p>明るい選挙啓発ポスター展 12月1日から12月15日まで市民センター空中通路にて佳作を含む50点を展示</p> <p>明るい選挙推進大会 10月23日午前10時から市民センター401室にて講演会を開催 テーマ 「政治への無関心 ツケは自分に!」 講師 オフェル・フェルドマン 氏(同志社大学政策学部教授)</p>
5 市民政治学講座	<p>公民館と共催 政治学講座「世界はニュースだけではわからない」をシリーズで開催</p> <p>第1回 10/21 「安倍政権の経済運営と日本経済の行方」 講師 滝川 好夫氏</p> <p>第2回 11/18 「北朝鮮問題に見る国連の平和維持機能の現実」 講師 酒井 啓亘氏</p> <p>第3回 12/9 「北朝鮮核問題と日本核武装論」 講師 黒澤 満氏</p> <p>第4回 1/20 「2007年の日本経済の展望—関西経済の話題から・・・」 講師 高林 喜久生氏</p> <p>第5回 2/17 「投票率について考える ～統一地方選挙を控えて」 講師 品田 裕 氏</p> <p>第6回 3/17 「景気回復の中での格差社会のゆくえ」 講師 ファカルティフェロー 氏</p>
6 新成人啓発事業	<p>20歳の誕生日に届くように、星座のイラスト入りバースデーカードと啓発冊子を送付 成人式(1月8日)にメッセージチラシと啓発資材を配布</p>
7 阪神7市1町明推協連合会事業	<p>総会 4/28参加 研修会 2/21参加</p>
8 学校生徒会選挙支援事業	<p>潮見中 12/12</p>

広報紙啓発事業

平成18年度広報あしや掲載記事

18年6月1日号

**白バラ
だより**

芦屋市に生まれ育っていな
が、恥ずかしいことに、今まで
市議会傍聴には行ったことがあ
りませんでした。

機会を得て初めて本会議の傍
聴に、市役所へ足を運びました。
選挙での投票はしていますが、
その後の行政にはほとんど
無関心。一市民として、少しでも興味を持
つべきだと思いました。

行政側の市長や助役らが、傍聴席を向い
て座り、議員はこちらに背を向けています。
なんだか、自分も議員と一緒に質問してい
る気分。しかも、自分が件んでいる市の問
題が目の前でリアルタイムに話し合われて
いるのだから、スリリングでさえありまし
た。

選挙時には「わたしたちの清き一票で、
明るく住みよい芦屋のまちづくりをして
らおう」と市政発展を願い、期待をかけて
政界へ送り出したはずです。だからその後
の活動を、チェックするためにも、積極的
に傍聴に行きませんか。

問い合わせ 選挙管理委員会 ☎38-2100

18年10月1日号

**白バラ
だより**

第26回 明るい選挙推進大会講演会
**「政治への無関心
ツケは自分に！」**

■日時 10月23日(月)午後1時
～2時30分 ■会場 市民セン
ター401室 ■内容 日本人の
政治行動、その原因と結果につ
いて ■講師 オフェル・フェ
ルドマン氏(同志社大学政策学
部教授) ■申し込み 直接会
場へ

あなたは明日、どんな生活が
したいですか？
○安心して子どもを産みたい。
でも仕事を辞めたくないし、
かといって働きのがらの子育
ては不安。どうしたら…
○うちの子どもの学校は、どう
なってるの？ 学力をしっか
りつけてほしい！ 設備も充実してほしい！
○うちの会社、残業も多いし休みも取りに
くい。もっと家族と楽しむ時間がほしい。
○こつこつまじめに働いてきたけど、病氣
したらどうなるんだろう。十分な医療が
受けられるだろうか？ 年金は？
人の一生、さまざまなステージがあり、
各時代快適で安全に暮らすことができたら
最高ですね。そんな国のシステムづくり、
待っていても実現しません。山積する問題
の糸口を探るのは私たち一人ひとりです。
そして、その意思を表明するのが投票権。
「国の行方」を真剣に考えるべき時が胸元
に突きつけられている今、あなたの明日は、
そう！その一票にかかっています。

問い合わせ 芦屋市明るい選挙推進協議会・選挙管理委員会 ☎38-2100

19年2月1日号

**白バラ
だより**

タスキ・スピーカー・だるま
から、何を連想されますか？
選挙が思い浮かんだでしょうか。
今年の四月には「兵庫県議
議員選挙」「芦屋市議会議員・芦
屋市長選挙」がありますよ。

日ごろ、政治についてあれこれ不平不満を
訴えているあなたにとって絶好の機会です。
「誰がなっても変わらへん」「私が棄権して
も大勢に影響あらへん」なんて言っている
あなた。前回の市政選挙の時なんて有権者
の半数近くが棄権したんですよ。
それってキケン(危険)じゃありませんか？
半数近くの市民がそっぽを向いている間に
一部の人の思い通りに政治が運ばれていく
かもしれませんよ。

「政治が悪い」などと他人のせいにしてい
ては決して、善い政治は行われません。「私
の一票で善くするんだ」と候補者について
『よく見て・聞いて・考えて』あなたの一
票をムダにしないでください。

問い合わせ 選挙管理委員会
☎38-2100

[資料3]

平成18年度選挙時啓発事業の実施結果

(平成19年4月8日執行 兵庫県議会議員選挙 街頭啓発実施日 3月31日)

事業項目	事業内容
1 掲示・掲揚物による啓発	<ul style="list-style-type: none">・横断幕，立看板，のぼりを市内各所に掲示・公用車にボディパネルを掲示・啓発ポスターを公共施設，掲示板に掲示
2 印刷物による啓発	<ul style="list-style-type: none">・広報あしやに啓発記事を掲載・啓発チラシを郵送で配布・公共施設の窓口でチラシを配布
3 街頭啓発	<ul style="list-style-type: none">・JR芦屋駅周辺において投票参加の呼び掛け，啓発資材の配布
4 放送等による啓発	<ul style="list-style-type: none">・広報車で市内を巡回しながら投票日の周知，投票参加を呼び掛け・ケーブルテレビの広報チャンネルで，投票日等を啓発・芦屋市ホームページに掲載

[資料 4]

平成 1 8 年度自主会計収入支出報告

(収 入)

単位：円

項 目	収 入 額	内 訳
繰 越 金	1 6 0 , 2 8 2	平成 1 7 年度からの繰越
協 力 金	0	
雑 入	6 9	預金利子
合 計	1 6 0 , 3 5 1	

(支 出)

単位：円

項 目	支 出 額	内 訳	
事 業 費	5 5 , 1 7 7	常任委員会費 会議費	3,500
		選挙時啓発委員会費 会議費	4,500
		街頭啓発費	7,500
		講演会実施委員会費 会議費	11,500
		推進大会	15,152
広報委員会費 会議費	10,925	10,925	
		明るい選挙ポスター表彰式 表彰状筒	2,100
合 計	5 5 , 1 7 7		

収入 1 6 0 , 3 5 1 円 — 支出 5 5 , 1 7 7 円 = 残高 1 0 5 , 1 7 4 円

参考：常時啓発及び選挙時啓発事業の経費は、市の直接経費(20,000円)と阪神7市1町明推協連合会経費(30,000円)で執行。

[資料 5]

平成 19 年度常時啓発事業実施計画（案）

事業項目	実施時期	対象者	内 容
1 諸会議の開催	4 月～3 月	明推協委員	総会の開催 常任委員会・専門委員会の開催
2 広報紙啓発事業	4 月～3 月	一般市民	市広報紙による啓発 (白ばらだより) 年 3 回
3 啓発ポスター募集事業	5 月～9 月	市内小・中・高校生	・ 明るい選挙の啓発ポスターを募集 ・ 表彰式 (入選者を表彰) ・ 明るい選挙啓発ポスター展 (啓発ポスター応募入選作品を市民センターに展示)
4 推進大会事業	10 月～12 月	一般市民	明るい選挙推進大会 (講演会) を開催
5 市民政治学講座 (地域別講演会事業)	10 月～3 月	一般市民	政治学講座「世界はニュースだけではわからない」をシリーズで開催 (公民館と共催)
6 議会の傍聴	6 月～3 月	明推協委員 一般市民	市議会本会議の傍聴
7 新成人啓発事業	4 月～3 月 1 月 9 日	新成人	・ 誕生日に「ハースターカード」と「啓発冊子」を送付 ・ 成人式に啓発資材を配布
8 阪神 7 市 1 町明推協連合会事業	4 月～3 月	選管委員 明推協委員 一般市民	総会, 会議等に参加 地域別講演会, 地域リーダー養成研修の実施 啓発資材の配布

平成19年第3回定例会会議予定表

月日	曜日	会 議	摘 要
6月11日	月	議員総会	招集告示
12日	火	議案説明会	
13日	水		
14日	木	代表者会議	
15日	金	代表者会議	
16日	土		
17日	日		
18日	月	本会議	開会, 議会役員選出, 議案処理
19日	火		
20日	水	常任委員会	質問通告締切日
21日	木	常任委員会	
22日	金	常任委員会	
23日	土		
24日	日		
25日	月		
26日	火	議案運営委員会	
27日	水	本会議	一般質問
28日	木	本会議	一般質問, (追加議案)
29日	金	(本会議予備日)	
30日	土		
7月1日	日		
2日	月	(委員会予備日)	
3日	火		
4日	水		
5日	木		
6日	金		
7日	土		
8日	日		
9日	月	議会運営委員会	
10日	火	本会議	委員長報告, 採決, 閉会

※ 市議会・委員会を傍聴するには、傍聴券が必要です。

本会議

傍聴席は65席あります。

傍聴券には、会議が開かれる時刻(通常午前10時)の30分前に、市役所議場の傍聴席入口(南館4階)で先着順に渡される一般傍聴券(30枚)と、各会派に割り当てられている議員紹介傍聴券等(35枚)があります。

委員会

大会議室又は委員会室で開きますが、大会議室は18人、委員会室は12人に限り傍聴できます。

原則として議員の紹介で傍聴する制度をとっており、事前に議員に申し出て傍聴券(紹介傍聴券)を入手します。又、議員が使用しない傍聴券を会議開始15分前から市議会事務局で先着順に渡しています。

[資料6]

平成19年度選挙時啓発事業の実施計画（案）

（兵庫県議会議員選挙）

（参議院議員選挙）

事業項目	事業内容
1 掲示・掲揚物による啓発	<ul style="list-style-type: none">・横断幕，立看板，のぼりを市内各所に掲示・公用車にボディパネルを掲示・啓発ポスターを公共施設，掲示板に掲示
2 印刷物による啓発	<ul style="list-style-type: none">・広報あしやに啓発記事を掲載・啓発チラシを郵送で配布・公共施設の窓口でチラシを配布
3 街頭啓発	<ul style="list-style-type: none">・JR芦屋駅周辺において投票参加の呼び掛け，啓発資材の配布
4 放送等による啓発	<ul style="list-style-type: none">・広報車で市内を巡回しながら投票日の周知，投票参加を呼び掛け・ケーブルテレビの広報チャンネルで，投票日等を啓発・芦屋市ホームページに掲載

[資料 7]

平成 19 年度会計収入支出予算 (案)

(収 入)

単位：円

項 目	収 入 額	内 訳
繰 越 金	105,174	平成18年度からの繰越
協 力 金	100,000	県会選挙・参院選挙協力金
雑 入	2	預金利子
合 計	205,176	

(支 出)

単位：円

項 目	支 出 額	内 訳
事 業 費	100,000	常任委員会費 10,000
		選挙時啓発委員会費 15,000
		講演会実施委員会費 50,000
		広報委員会費 25,000
予 備 費	105,176	
合 計	205,176	

参考：市の直接経費として、推進大会講師謝金 20,000 円を別途予算化。

阪神 7 市 1 町明推協連合会経費 30,000 円。